

小牧市立小木小学校で防災講座を行いました

令和7年9月3日（水）、小牧市立小木小学校で5年生49名に水害、6年生46名に地震の防災講座を行いました。小牧市での講座は初めてです。学校の近くには、巾下川が流れています。

水害の講座では、小牧市でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨、今年で25年目の節目にあたる東海豪雨など過去の水害について学びました。小木小学校の周辺は浸水しやすく、9.12豪雨や東海豪雨などで浸水しています。

地震の講座では、去年の能登半島地震や濃尾地震など過去に発生した地震について、模型・映像を用いて学習しました。多くの児童が、過去の地震を知っており、防災意識が高いことが伺えました。また、液状化現象の仕組みについても、ペットボトルを用いた実験で確認しました。

講座を通して、水害では「いつ・どこに避難するか、非常食はどういうものを準備するのかを家族と話し合いたいと思いました。」と、地震では「五重塔の心柱の技術がスカイツリーに使われている事にびっくりしました。」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人」から「守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子はケーブルテレビCCNet、中日新聞に取材頂きました。

水 害



地 震

